



山本麻依



村上凜良



松本涼見



杉浦一斗



野村果厘



鈴木悠一朗



鈴木友理
(観光まちづくり課)



竹内洸貴
(建築住宅課)

メンター・協力

増山大祐、山本航、市川千尋、吉口慶、三田吉孝、伊藤昭考、
菅沼将帆、小田晃司、竹内洸貴、鈴木友理

政策＝理想の未来像

※蒲郡がどんな未来になっていると良い？

『レトロで落ち着く心のふるさと蒲郡』

現状分析

※各種客観的データ

① 関係する政策や施策

- ・ フォトコンテスト(蒲郡市観光協会)
- ・ 秘書広報課のSNS運営
- ・ がまフォロ割
- ・ 竹島ガーデンピクニック
- ・ 蒲郡まつり ・ ごりやく市

③ 影響しそうな社会的要素

- ・ コロナウイルス感染症拡大
- ・ 地元の若者が知らない場所が多い
- ・ SNSでの自治体広報PRの対する需要
- ・ Z世代が中心「レトロブーム」
- ・ 地域のブランド価値

② 関係する数量的なデータ

- ・ Instagram使用率(10～20代)約70%総務省
- ・ 蒲郡観光客数→年間約670万人(H29)
- ・ 観光客増加目標→プラス70万人
- ・ Instagram #の投稿数
- #蒲郡→50.2万人 #蒲郡市→13.5万人
- #豊橋→133万人 #岡崎→95.6万人

④ 関係する部署・団体

- ・ 蒲郡市観光協会(@gamagori_pr)
- ・ 蒲郡市秘書広報課(@e.jan_gamagori)
- ・ 蒲郡市観光まちづくり課
- ・ 蒲郡商工会議所
- ・ 蒲郡商工会議所青年部
- ・ 蒲郡市飲食店組合

解決すべき課題

※理想の未来像を目指すときに、蒲郡市にはどんな課題がある？

蒲郡市があまり知られていない、遊ぶ場所が無いと同世代からの意見が多い。
これは発信が足りていない、口コミが少ないなど課題があげられる。

SNSの広報では、他市に比べて「#蒲郡」が少ない。#使用数は、観光客数や魅力発信数として誰もがすぐ見れる数値である。

蒲郡市が観光地であること、観光スポット、市内の飲食店など蒲郡市民に対してあまり周知されていない。

コロナの影響もあり、インバウンド需要の減少また整備不良も課題として考えられる。

3

役に立つ強み

※若者議員や地域、企業・団体が持っている、課題解決に役立つ強みは？

若者議員の中には、InstagramなどのSNSを日常で使っている人もいる為「SNSを使った発信」「情報収集」が可能で、客観的に見ることを得意とする若者議員がいる。

蒲郡市以外の地域(西三河)の友人がいることで市内に呼び込むことが出来る。
市内をアピールできる。

蒲郡は中高年が経営されている店が多く、SNS発信などが難しいと思われる。
蒲郡で知られていないお店などを地元の若者の視点で発信する。

蒲郡市内でも様々な地域に住む若者議員が集まるので、地域のコアな場所や情報をよりたくさん集めることができる。

4

施策＝アクション

※どんなアクションをすることで、理想の未来像を目指す？

- ・ 観光客増加に向けたSNS広報強化
- ・ 蒲郡市民の地元の魅力再発見

5

蒲郡にどんな効果がある？

- ・ 観光スポットの広報強化
- ・ 地域資源の活用促進
- ・ 商店街活性化の為の魅力発信
- ・ シビックプライドの強化
- ・ 観光客の増加

6

参加者にどんな効果がある？

- ・ 地元を市外の方に勧めやすくなる
- ・ 観光振興を目的とした起業、創業がしやすくなる
- ・ 長く住みたくなる
- ・ 年齢層を超えた交流ができる

7

事業の概要

事業案

【ガマゴオリ写真祭】がまごおりしゃしんさい

概要

「レトロな蒲郡」フォトコンテストの開催

- 開催期間→10月1日～10月31日
- 開催場所→Instagram、web
- ターゲット→10～20代の若者
- 応募方法→①アカウント@gamaretroをフォロー※1
②「レトロな蒲郡」をテーマに撮影※2
③「#がまレトロ」「#ガマゴオリ写真祭」をつけて投稿!
- 結果発表→当選者は11月5日までにDM(11月11日までに返信無し→無効)
@gamaretroから連絡

最優秀賞1名・優秀賞1名・若者議員賞6名 計8名入選

後日、縁日をイメージしたレトロな蒲郡ブースを開催し、フォトコンテストの作品を掲載できる場所を用意。

実際のレトロな飲食や、レトロな雑貨も目にしてもらい、蒲郡の落ち着いた雰囲気(市民の人柄や、環境が一番ほっとする、落ち着いたと感じてもらえる)を市内市外問わず感じてもらう。作品の応募者には当日サービスを用意し、参加メリットを用意する。

■アカウント運営

- ・応募作品はリポストし、アカウントにまとめていく
- ・コンテスト中は毎日ストーリー投稿し盛り上げる
- ・開催前(9月30日ㄨ)に「レトロな蒲郡」を若者議員で10件投稿
- ・目標応募数→500人
- ・目標フォロワー数→500人

参考：蒲郡市観光協会、他県他機関のフォトコンテスト

※1：新規アカウント「@gamaretro」新設しました！フォローよろしくお願ひします！

※2：レトロな蒲郡の風景、食べ物、人など括りのイメージは「がまごおりじなる」です！



効果

《市民》

自身が知らなかった蒲郡の
魅力再発見

投稿された写真による観光
地としての魅力再確認

SNS媒体を使って友人に蒲
郡市を勧めやすくなる
市内で遊ぶことが増える

《蒲郡市》

イベントによる観光客数増加

#蒲郡の使用率増加

拡散による蒲郡の認知度上昇

SNS広報を通して、他団体と
連携(コラボ)しやすくなる

市内消費量の増加

《観光客》

イベントに参加すること
によってサービスがうけれる

「#がまレトロ」を見たこ
とによって行きたい場所が
発掘出来る

#で検索するだけで出てく
る市内の観光地のヒット数
が増え、見つけやすくなる

該当する
SDGs

